

◎ 出席優秀クラブ



湯河原クラブは創立以来、出席優秀クラブとしての伝統を持ち続けています。
そのため幾多の表彰を受けました。 (1997. 4.18)

会員の出席率

1964～1965年度	98.47%	10位	1982～1983年度	100.00%	1位
1966～1967年度	99.41%	8位	1983～1984年度	100.00%	1位
1968～1969年度	99.82%	3位	1984～1985年度	100.00%	1位
1970～1971年度	99.88%	3位	1985～1986年度	100.00%	1位
1971～1972年度	99.70%	3位	1986～1987年度	100.00%	1位
1972～1973年度	99.30%	6位	1987～1988年度	100.00%	1位
1973～1974年度	88.87%	3位	1988～1989年度	100.00%	1位
1974～1975年度	99.56%	10位	1989～1990年度	99.77%	
1975～1976年度	98.86%	8位	1990～1991年度	100.00%	1位
1976～1977年度	99.65%	1位	1991～1992年度	100.00%	1位
1977～1978年度	100.00%	1位	1992～1993年度	100.00%	1位
1978～1979年度	100.00%	1位	1993～1994年度	100.00%	1位
1979～1980年度	100.00%	1位	1994～1995年度	100.00%	1位
1980～1981年度	100.00%	1位	1995～1996年度	100.00%	1位
1981～1982年度	100.00%	1位	1996～1997年度	?	



交換留学生を迎えて

前青少年交換委員長 杉山 茂久

当クラブに交換留学生の受け入れが決定し、八亀義臣会長（当時）より青少年交換委員長を要請され、役を引き受けることになりました。湯河原国際交流協会の恒例行事として毎年短期ではあるが、外国人をホームステイさせていたので何とかなるだろうと思いはしたものの、これは大変なことになったと内心思いました。さいわい会長のご配慮で前委員長の浅田会員を副委員長として残していただき大変助かりました。浅田会員の知人である小田原中クラブの川口さんご夫妻に経験談をお聞きし、特に女性の立場からのお話しは大変参考になりました。

地区への書類提出、予算案の作成、小田原高校へのご挨拶と打ち合わせ、寝具の発注、デビッド君へ英語版湯河原ロータリークラブの概要（故天野邦英さん作成）と湯河原町のパンフレットを添えて手紙を郵送、歓迎会の企画などとおたのしい日が続きました。何人の会員がホストファミリーを受けてくれるのだろうかと心配をしましたが、八亀前会長より2カ月ずつ、6家族で面倒をみようという提案があり、率先してホストファミリーになって戴きました。会員それぞれの方には受験生や病人がいたり、また住居の事情もあつたりで、簡単に決定した訳ではありませんでしたが浅田、佐藤、杉山、佐東、室伏の各会員で引き受けて戴けることになり、6人の会員とご婦人が一堂に会し、打ち合わせをしました。

詳しい状況が分からないで少しやきもきしていたところ、8月初旬に8月16日、JAL9便で成田空港に到着するとFAXが入り、迎えの準備にかかりました。

以下、1年間の主なことを日にちを追ってまとめてみました。

8月16日 当日は夏休み、しかもお盆休みということなので早めに出発することになった。平井会員よりワンボックスカーを借り、いざ出発という時、電話が鳴った。英語だ！デビッド君の父親からだった。デビッドの乗った飛行機が悪天候

のためシカゴへの到着が遅れ、JAL9便に乗れなかった。それ以外のことは分からないとのことだった。出迎えを中止し、日本航空への電話をいれ、やっとのことで確認が取れた。アトランタ経由でJAL19便、17日、15時55分成田到着と判り、ほっとする。デビッド君の父親へ電話を入れた。

8月17日 八亀会長、浅田、平井の両会員、佐東会員のお嬢さんの瑞紀さんと私の5人で出発。若くて可愛らしい通訳嬢が一緒なので車中が楽しい。余裕をもって出たので成田に昼前に着いた。昼食をとった後、成田山新勝寺にてこの青少年交換事業の成功を祈願した。成田空港まで無事に到着、後は彼を待つだけだ。JAL19便到着のサインがボードに点灯、それらしい人もグループもなかなか出てこない。そうこうしているうちに背の高い若者が大きな旅行鞆を押しながら出てきた。デビッドだ。我々を見つけ、彼もほっとしたようだった。帰路は瑞紀さんの独壇場、流暢な英語でデビッドと会話。我々だけだったらデビッドに寂しい思いをさせただろう。佐東さん、ありがとう。無事に湯河原に到着、今夜から八亀さんのお宅でホームステイ。

8月18日 湯河原RCへ出席 西相信金本店で移動例会、デビッド君挨拶をするが日本語は全くだめだった。昼食はうな重、半分程食べた。

8月25日 デビッド君歓迎会 湯河原観光会館のパノラマラウンジで行う。第2780地区青少年交換委員長の井上さん、ローテックスで小田原高校生の関田さんに出席していただき、会員家族とともに食事やゲームを楽しんだ。

9月1日 小田原高校へ初登校 浅田会員と杉山の3人で校長先生にご挨拶。

9月24日 足柄RC稲刈りに参加 米山留学生、交換留学生が集い盛大だった。デビッドは頭にちょんまげのカツラをつけて、人気者だった。

9月30日、10月1日 神奈川県主催 国際交流高校生の集い（県立三浦ふれあいの村）

※湯河原ロータリークラブ創立35周年おめでとう

前年度交換留学生 Dave Wright



京急三崎口駅集合なので心配したが先輩留学生のクリストファー君と藤沢駅で合流とのことで安心。

11月24日、25日 日光旅行へ参加楽しみにしていた初めての旅行。

3月20日 県主催 国際交流高校生の集い横須賀市の米軍基地内のキニックハイスクールで日本人高校生と外国人高校生との交流。

5月24日 湯河原RC家族親睦会 バスにて浜松の竜ヶ岩洞、龍潭寺、花木センターを見学デビッドの「なぞなぞ」で大笑い、日本語の上達振りに参加者も驚く。うな重も今度は大丈夫。

6月2日 足柄RC田植えに参加 ギブスをつけていたので田植えはできなかった。ホストファミリーの佐東さんが同行。

7月1、2日 湯河原RCの有志と京都へ一泊旅行 憧れの京都で日本刀や扇子を買って大喜び。

7月6日 国立劇場での歌舞伎鑑賞会へ参加

7月11日、12日 富士登山へ参加 頂上までは登れなかったが大満足、金剛杖も買いました

7月26日 湯河原RC主催 デビッド君送別会を湯河原厚生年金会館にて行う。井上前地区青少年交換委員長出席のもと会員とその家族が集まりビンゴゲームなどを楽しんだり、1年間の思い出を振り返り、別れを惜しんだ。

8月1日 デビッド君帰国 浅田、佐東、佐藤会員、私と家族で早朝に出発、夏休みのため途中が交通渋滞で心配したが無事に到着 手続きをすませ、ほっとする。あっという間に時間が過ぎ、出発の時間になった。再会を約束し、見送った。

以上の外に地区主催のオリエンテーションや歓送迎会、ローテックスの集まり、学校の行事などがたくさんありました。

会員の方々には旅行や相撲部屋、TV局、ディズニールランド、そのほか色々な催し物にご招待戴いたり、お土産をプレゼントして戴きました。湯河原RC会員の全面的なご支援により、デビッド君に良い思い出をたくさん作ってあげられたと思います。そしてデビッド君がこの1年間で随分とたくましい若者になったと感じました。この経験を生かして立派な人物に成長し、日本とカナダの友好のために尽くしてくれることを祈念いたします。

会員の皆様のご協力に感謝申し上げますとともに、地区委員会の皆様のご労苦に敬意を表します。

ロータリーのみんなさん こんにちは!
ひさしぶりですね。みんな元気ですか?
ぼくは元気だよ! 35年もあるね。これは
すばらしいです! 湯河原ロータリークラブおめでとう
ございます!

その前の1年かんがもう一回 どうもありがとう
ございますし ありがとうです。その1年かんにかん
なりました けれどとても楽しかった。ぼくはねえ
その1年かんのことをわすれられない! お父さんたち 本学
にありがとう ございました! また日本へぜひ行ってきます!
けれどもカナダに帰れば ぼくの家に
いられます! きてほしいから きていますよ!

ぼくの住所は: Dave Wright
408 Riverbend Drive
Thunder Bay, Ontario
PTC-1R6
Canada

ph - (807) 577-6502
skn fax - (807) 623-2298
これからもよろしくおねがいします!

Dave Wright

社会奉仕 『意義ある業績賞』・受賞

湯河原R.C

〔受賞対象事業〕『記念植樹』 湯河原町城山
記念植樹と下草刈り

1972年 4月クラブ創立10周年記念事業として
城山に山紅葉の植樹を行い、苗木 3,655本を湯
河原の農協青年部の協力を得て、クラブ全員参
加で行った。その後毎年夏、山紅葉の下草刈り
を会員全員参加で今回24回にあたる。現在2~3
mに山紅葉は成長し、地域の環境保全に寄与し
ている。

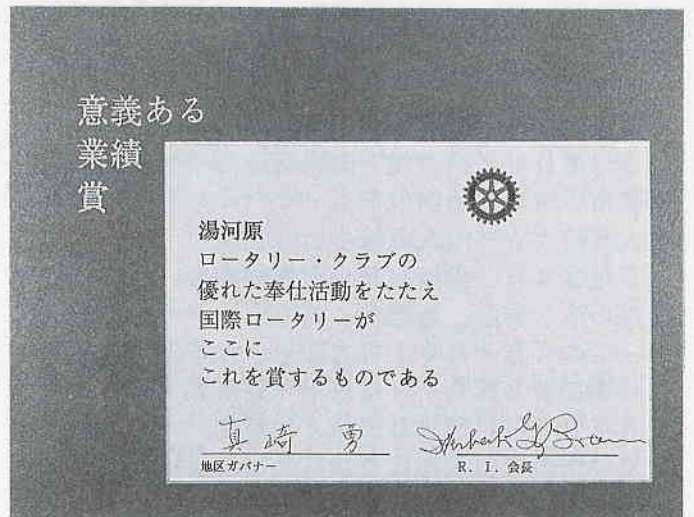
〔選定理由〕

- 1) クラブ主催事業である。
- 2) クラブ会員が全員参加している。
- 3) 24年間継続して行っている。

〔選考委員長〕パストガバナー生 沼 富 治

〔表彰〕

国際ロータリー第2780地区ガバナー真崎 勇
国際ロータリー会長ハーバート G ブラウン



まさしく意義ある業績に値する賞であり、創立35周年を迎え湯河原R.Cが誇れる社会奉仕活動事業である。



昭和48年4月8日~9日の両日
湯河原農協青年部のご協力
を得て山紅葉の苗木植樹作
業が行われた。右端より左
手に苗木、右手に鋤をもち
一本一本植樹して行く吉光
・杉山会員 榎本・加藤・熊
野会員は作業を見ている。
3,655本を植樹した。

その後の苗木の勝着率は
極めて良好、すくすくと育
つ。
次の年より、山紅葉の周
り下草刈と、配合肥料の施
肥を毎年お行っている。

おなじみの10周年記念植
樹記念碑の建設は、僅か10
日間の短期間の内に、井戸
倉建設とランケイ社のご協
力により立派な記念碑が建
設された。



昭和54年8月19日 夏の日盛の下草刈りは、苦しいが、炎熱をさえぎる、やさしい山紅葉の木陰が、汗し流れる憩いの場として、会員を呼んでいる、年毎の苦難の炎熱灼くが如き、作業の積み重ねが、やがて湯河原の紅葉の名所となり、観光客が訪れるであろう事を念じて、本年も下草を刈る、ご褒美のヘルメットを被って、記念碑前で



*常に率先して超我の汗の奉仕を
実践示された 故 近藤 保 会員



『山紅葉の育成と下草刈り作業』
 本活動事業は過去の記念誌に掲載されましたが、昨年度R. I 意義ある業績賞を、受賞改めて先輩会員の、ご努力を讃えたく山紅葉の植樹の頃より活動作業を載せて、今は亡き共に奉仕活動に汗を流した、近藤 保君 君
 杉山 実君 及川修助君 君
 林 武蔵君 直居重雄君 君
 榎本 清君 浅田真章君 君
 八亀広蔵君 天野邦英君 君
 平間茂夫君 丹羽康之君 君
 に捧げます。

写真右上部分、大きく育った山紅葉の樹林、この場所では中程度に育っている。休憩所右側道上の左側の山の紅葉は大きく育ち3m以上の樹で樹林を作る。



汗を流した後の山での天野屋さん特製のお弁当のおいしい事、及川君の大釜でゆでたトウモロコシをほうばる、パストガバナー 鱸正太郎さんが陣中見舞いに カマは持たなかつたが 楽しく食事には参加、トウモロコシを食べながらの右から林さん、鱸ガバナー、加藤さん、奥に岩井、吉光先生。



この年、雨の中での下草刈り作業でしたが、汗をかいた作業の後の充実感か、全会員 笑顔